

JAバンク静岡における地域密着型金融の 取組状況について（令和2年度）

令和3年8月



JAバンク静岡（県下JA・静岡県信連）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

今般、令和2年度における地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする
支援の一層の強化
(JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)**
- II 担い手の経営のライフステージに応じた支援**
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に
適した資金供給手法の徹底**
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な
農山漁村等地域育成への貢献**

I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援の一層の強化 (JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

1. 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和3年3月末時点におけるJAバンク静岡の農業関係資金残高^(注1)は30,715百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金^(注2)残高は11,392百万円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

類型		令和3年3月末
農業		30,067
	穀作	1,658
	野菜・園芸	9,204
	果樹・樹園農業	2,954
	工芸作物	4,556
	養豚・肉牛・酪農	1,033
	養鶏・鶏卵	428
	養蚕	0
	その他農業	10,231
農業関連団体等		648
合計		30,715

※「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者、及び農業サービス業が含まれています。

※「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

(単位：百万円)

種類		令和3年3月末
プロパー資金		20,123
農業制度資金		10,591
	うち 農業近代化資金	4,833
	うち その他制度資金	5,758
合計		30,715

※「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。

※「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク静岡が転貸で融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するものを対象としています。

※「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

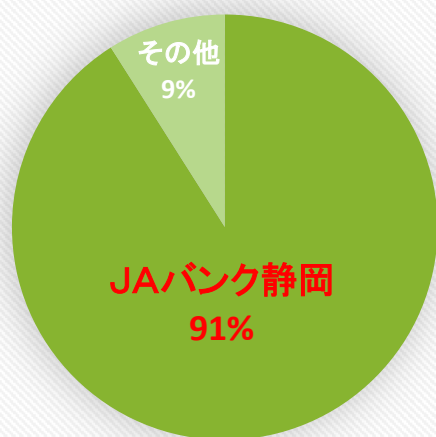
種類	令和3年3月末
日本政策金融公庫資金	11,392
その他	-
合計	11,392

※ JAバンク静岡では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

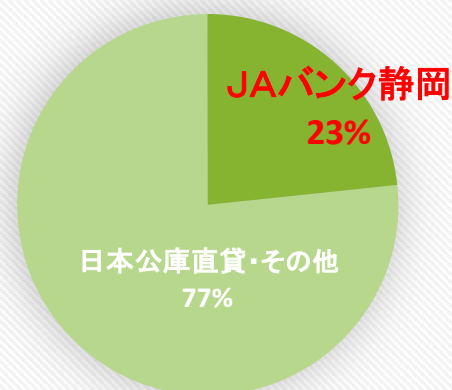
- JAバンク静岡は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【静岡県の農業近代化資金及び日本政策金融公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
（令和2年12月末時点）
出所：静岡県



日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア
（令和3年3月末時点）
出所：JAバンク静岡、日本政策金融公庫



2. 担い手のニーズに応えるための取組み

- JAバンク静岡では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」が、県内17JAの本支店に30名配置され、JAの農業融資に関する活動をサポートしています。
- 静岡県信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充・強化に努めています。

Ⅱ 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

1. 次世代農業者の育成支援

- JAバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：件、百万円)

資金名称	令和2年度 実行件数	令和2年度 実行金額	令和3年3月末 残高
青年等就農資金	51	647	2,644
就農支援資金	-	-	440
J A新規就農応援資金	-	-	2
その他	3	14	14
合計	54	661	3,100

2. 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援 (商談会・ビジネスマッチング)

- JAバンク静岡では、農林水産業の事業力・収益力強化のため、行政や系統団体等と連携し、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加 団体数	総来場者数	内容
ふじのくに 総合食品開発展 2021	令和2年2月9日～ 令和2年3月8日 (オンライン開催)	静岡県 静岡県下JA 静岡県産業振興財団	116社	458名	県下JA等が主催・出展 91件の商談を実施

3. JAバンク静岡講演会・セミナー等の開催

- JAバンク静岡では、お取引先様や系統団体等を招いたセミナーを開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【令和2年度講演会・セミナー開催実績】

講演会名	開催日	主催者	参加者	内容
アグリビジネスセミナー	令和3年 2月15日	静岡県・静岡県信連	64名	消費者ニーズを捉えた マーケティング・ブランディング

消費者需要の多様化に対応した農業経営を実現させることを目的に、「消費者ニーズを捉えたマーケティング・ブランディング」をテーマとして、株式会社結アソシエイト代表取締役松田恭子氏、株式会社モスファーム代表取締役北條雅康氏を招いたセミナーを開催しました。

■こんな悩みはありませんか

販路拡大したいけど、商品の効果的なPR方法が分からない。
そもそも販路拡大の基礎的な考え方を知りたい。
マーケティングに興味はあるけど、まず何をすればいいのかわからない。

■セミナーのポイント

当セミナーでは、従来の生産活動中心の農業経営から、消費者需要の多様化に対応した消費者が求める農産物づくりへ向け、「消費者ニーズの読み方」「販売する上での農産物の魅せ方」について講演いただきます。

講師紹介

講演①

松田 恭子(まつだ きょうこ)
株式会社結アソシエイト
代表取締役

日本政策金融公庫
上級農業経営アドバイザー
農林水産省6次産業化
エグゼクティブプランナー



農水産業の事業者や地域ぐるみの商品開発・販売戦略・経営戦略の支援や、地域の関係者と連携したブランド化推進のための基準・体制づくりと販路開拓・PRを専門分野として活動

講演②

北條 雅康(ほうじょう まさやす)
株式会社モスファーム
代表取締役



富士宮市で20種類以上の苔の生産・販売を行う。苔の魅力を伝えるために県の主催するアグリビジネス実践スクールに参加。自社商品のブランディング戦略について発表していただく。

4. 災害等の被害を受けた方への支援

- JAバンク静岡では、災害により被災した方々を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や農業者の資金調達費用負担軽減のため、利子補給や保証料助成を実施しています。

【令和2年度 利子補給・保証料助成による支援（単年度）】

（単位：件、百万円）

支援項目	支援主体	内 容	件数	助成等金額
令和元年台風19号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和元年台風19号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 16	利子補給額 0.02
令和元年降雹静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和元年降雹で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 6	利子補給額 0.001
平成30年台風24号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	平成30年台風24号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 183	利子補給額 4
JAバンク静岡保証料助成の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応として、県下JAの農業資金の借入者が静岡県農業信用基金協会に支払う保証料の助成	保証料 助成件数 980	保証料 助成額 98.7
合計（利子補給・保証料助成）			1,185	102.9

【令和２年度 災害対策資金による支援（単年度）】

（単位：件、百万円）

取組事例	JA名	内 容	件数	実行金額
平成24年台風4号 災害対策支援資金の対応	JAなんすん	台風で農畜産物の被害を受けた組合員に 対し、低利の資金を対応	40	89
令和元年度降雹被害 対策支援資金の対応	JAみっかび	降雹で畜産物の被害を受けた農業者に対 し、低利の資金を対応	15	61
平成30年台風24号 災害対策資金	JAなんすん JA大井川	台風で農畜産物の被害を受けた組合員に 対し、低利の資金を対応	13	31.59
新型コロナウイルス対策資金	JA伊豆太陽 JA伊豆の国 JAなんすん JAしみず JA静岡市 JA大井川 JAハイナン JA掛川市 JA遠州夢咲 JAとびあ浜松	新型コロナウイルス感染症により農業経営 に直接または間接的に影響を受けた農業 者へ低利の資金を対応	174	667.53
凍霜害対策支援資金の対応	JAなんすん JA静岡市	凍霜害で農畜産物の被害を受けた組合 員に対し、低利の資金を対応	14	36
合計			256	885.12

5. 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決 ソリューションの提供・蓄積

【令和元年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

区分		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生計 画を策定 した先 a	Aのうち期末に 債務者区分が ランク アップした先 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先 c	事業計画 策定率 = a / A	ランク アップ率 = b / A
正常先 ①		8	8		-	100%	
要注意先	うちその他要注意先 ②	15	15	1	11	100%	6.7%
	うち要管理先 ③	-	-	-	-	-	-
破綻懸念先 ④		5	5	-	2	100%	0.0%
実質破綻先 ⑤		2	2	-	2	100%	0.0%
破綻先 ⑥		-	-	-	-	-	-
小計 (②～⑥の計)		22	22	1	15	100%	4.5%
合計		30	30	1	15	100%	3.3%

※期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和2年3月末時点のものです。

Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

JAバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

1. 資本供与の取組み（ファンドの活用）

- JAバンク静岡では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。
累計実績 8件 145,820千円

～（例）集出荷貯蔵施設建設に向けた資本供与（※令和元年度事業）～

- J A取引先である大規模農業者が集出荷貯蔵施設の建設を計画していたことから、J Aと静岡県信連、農林中央金庫、アグリビジネス投資育成(株)が連携し、担い手経営体応援ファンドによる出資、制度資金の活用による建設資金を支援いたしました。
- 出資を受けたことで、財務の安定化や対外的な信用力が増したこともあり融資審査も問題なくクリアされました。
- 引き続き、J A営農・金融部門における支援がなされることから、静岡県信連では金融支援に加え、取引先等とのビジネスマッチングによる販路の確保支援等を図っていきます。



2. 負債整理資金による経営支援

- JAバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【令和2年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	令和3年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	-	-	-
その他	-	-	100
合計	-	-	100

※「農業経営負担軽減支援資金」は、営農に必要な資金の借入により生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

3. 動産担保融資の活用

- JAバンク静岡では、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

静岡県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】

(単位：件、百万円)

	令和2年度末	
	件数	残高
農産物	-	-
畜産物	6	96
機械設備	3	106
その他	-	-
合計	9	202

IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

1. 食・農への理解促進

- JAバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、令和2年度には特別支援学校を含む県内530校の小学5年生（約4万人）に配布され、学校の授業等において活用されています。

～令和3年3月16日（月）に静岡県教育委員会に目録を贈呈させていただきました～



写真左
静岡県信用農業協同組合連合会
経営管理委員会会長 鈴木 正三

写真右
静岡県教育委員会
教育長 木苗 直秀 様

- JAバンク静岡は、「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」における担い手育成支援事業として、農畜産業の担い手の育成や地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げることを目的に、平成28年度より県内の公立農業高校や農林大学校の学生が行う研究等に対して、費用助成を実施しております。

令和2年度については、対象校（県内の公立農業高校10校）が実施する16の研究等に対して、総額400万円の助成を実施し、令和2年7月21日に静岡県教育委員会に目録を贈呈いたしました。



写真左
静岡県信用農業協同組合連合会
代表理事 田代 芳彦

写真右
静岡県教育委員会
教育長 木苗 直秀 様